

入選

ありがとうのシャワー

熊本県 八幡小学校 二年 鹿子木 蒼太

ぼくたちの学きゅうには、「ありがとうタイム」があります。かえりの会で、友だちにつたえたい「ありがとう」を、みんなでわになってつたえ合います。その日のとうぼんの人がいちばんにはっぴょうして、ぬいぐるみをバトンにしてみんなでありがとうのリレーをします。

「のぞみさん、ぼくの赤えんぴつがおちたとき、ひろってくれてありがとう。」

と、ぼくが言うと、のぞみさんが、

「どういたしまして。」

とおかえしをしてくれます。

あさ、学校にきたときから、ぼくは、ありがとうさがしをします。

れいじくん、みささん、ひる休みにいっしょにあそんでくれてありがとう。たのしかったね。

たいがくん、りんかさん、ぼくが絵のぐをかたづけているときにてつだってくれてありがとう。たすかったよ。

のぞみさん、こうたくん、こくごの時間にだいすきなことをはっぴょうするとき、しっかりぼくのことを見て話を聞いてくれてありがとう。あんしんして話すことができてうれしかったよ。

ありがとうは、毎日たくさんみつかります。心がぼかぼかします。

だけど、ぼくへのありがとうがあったときは、もっとうれしいです。

「そうたくん、クレパスがおちたときにひろってくれてありがとう。うれしかったよ。」
と言ってもらったときは、ぼくも人のためになっているんだなと思ってうれしくなります。

ありがとうタイムのさいごは、

「今日も、みんな、ありがとう。」

と、とうぼんが言ったあとに、みんなで、大きな声で、

「ありがとう。」

と言っておわります。ありがとうがいっぱいになって、シャワーをあびたみたいに気持ちよくなります。みんなも同じ気持ちになったらうれしいです。

これからも、みんながたのしく、気持ちよくすごせるように、ありがとうでいっぱいの学きゅうにしていきたいです。